

# 施策分析シート（平成28年度）

No1

<b>施策名</b>	都市計画道路の整備	<b>施策No</b>	12-02	<b>部課名</b>	防災都市づくり部道路公園課
<b>関連部課名</b>	防災都市づくり部防災街づくり推進課				
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	VI	安全安心都市		
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	12	利便性の高い都市基盤の整備		

**目的** 都市計画道路の整備により、避難路や延焼遮断帯としての機能確保、木造住宅密集地域の防災性向上、安全に歩行できる空間の確保、電線類の地中化や植樹帯の整備が可能となるため、計画的に実施する。

指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文
		25年度	26年度	27年度	
①	まちなみの良さ	2.87	2.90	2.96	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
②	防災性	2.31	2.34	2.28	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
③	安全・安心の実感	2.67	2.73	2.66	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
①	都市計画道路の整備率(%)	58.1	58.1	58.1	58.1	70	完成5,160m/計画8,886m(平成28年3月末延長)
②	補助193号線用地測量実施率(%)	—	5	30	60	60	
③	補助331号線用地取得率(%)	27	45	56	60	60	公社取得ベース
④							
⑤							

**現状と課題（指標分析）**

- 荒川区における都市計画道路の整備率は58.1%となっており、区部平均64.7%に比べ低い状況にある。
- 「区部における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」が策定され、優先的に整備すべき路線が定められる。(平成28年3月)  
整備期間：28年度～37年度  
区施工路線：補助182号線、補助189号線、補助193号線
- 円滑な事業の進捗には、土地所有者等関係権利者の理解を得ることが必要である。
- 既存道路との接続による交通への影響や高低差処理等を考慮する必要がある。

**今後の方向性**

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

- 都市計画道路の整備は、現状を見極めた上で、重要性や経済性及び防災街づくりの観点から、優先順位を定めて計画的に進めていく。
- 用地測量や用地取得交渉にあたっては、引き続き丁寧な対応を継続しながら、早期の用地取得完了を目指す。
- 交通管理者や鉄道事業者等と調整を図りながら、より安全で機能性の高い道路の整備を進めていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備率を区部平均水準まで引き上げる。 ※区部平均：64.7%(平成27年3月末)

## 施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
都市計画道路用地取得事務	10-02-18	—	2,215	重点的に推進	重点的に推進	区の計画を踏まえ、取組みを強化し、重点的に推進する。
都市計画道路補助193号線整備事業	10-05-03	7,693	7,887	重点的に推進	重点的に推進	地域危険度の高い町屋・尾久地区に導入した不燃化特区制度のコア事業として本路線の整備を推進する。
都市計画道路補助321号線整備事業	10-05-12	0	2	継続	継続	未取得用地である東京ガス所有地の土壌汚染状況調査費及び対策費について、引き続き検討を進める。
都市計画道路補助331号線整備事業	10-05-13	402,216	791,628	重点的に推進	重点的に推進	JR等の鉄道で分断された南千住地域を東西に結び、広域避難場所「都立汐入公園一帯」への避難路となる本路線の整備は、災害時の円滑な移動を確保する上で重要である。
合 計		409,909	801,732			